

二松学舎大学  
松苓会  
長野県支部報

日学部登  
和松野水  
4年7月8日  
松苓会支部  
松野水  
長野県支部  
松野水  
発行人  
印刷  
印  
題字  
西村満州夫

三島中洲先生と記念碑について

支部長 清水 登 (文42回)



令和2年度  
三島中洲先生  
新刊書  
イリス

に翻弄され、支部活動につきましても、役員のみにより開催された支部総会を除き、自粛せざるを得ない状況でした。会員各位につきましても、何かと不自由な生活を強いられ、申し上げます。本年度は、新型コロナウイルスの収束を期し、以前のような支部活動に少しずつ戻していきたいと考えております。三島中洲先生が関係する記念碑について管見に入つたものを次に掲げます。

「三郷村の碑文」(三郷村教育委員会・昭和六十三年)に、明治十七年に建立とされる「務台(むたい)伴語筆塚(むたいのふたごのひらき)所在(すゐん)地(ち)現(げん)在(ざい)・安曇野市三郷温(あづみのしさんごうぬるま湯)ゆたか」野沢向(のさわむか)街道(かいだう)が紹介されており、その碑文は五位三島毅、中根開書並びに



隸(れい)額(がく)とあります。撰文(ぶん)の内容(内容)は、翁(おきな)文化(ぶん化)十(じゅう)一年(いちねん)の明治二十年(めいしにじゅうねん)の経歴(けいれき)を紹介(しょうかい)し、その業績(じゆく)を顕彰(けんしょう)したもので、同書(どうしよ)によると、壽藏(じゆざう)は生きてい

るうちに建て(た)てられたと推定(すいじやう)され、翁(おきな)名(な)は景貞(けいじん)とあり、伴語(ばんご)と称(なづ)けられ、俳句(はいく)に堪能(たんのう)で、若(わか)し時(とき)から家塾(けいじゆ)をひらき、門弟(もんてい)は近郷(きんきやう)及び豊科(ゆたか)松本(まつもと)その他(その他)各地(あち)から多く集(あ)まり、地方(ちほう)文化(ぶん化)の先驅(せんく)的(てき)役割(やくわい)を担(たん)った。塾(じゆ)は温知(ぬるま)学館(がく)と称(なづ)けられたとあり

「小諸碑文集」(小諸小学校職員研究会郷土史員代表堀米秀春・昭和四年)に、明治三十六年建立(けんりつ)の中山(なかつま)翁(おきな)門生(もんせい)一(いつ)同(どう)による(よる)とされる中山(なかつま)翁(おきな)前(まへ)古園(こゑん)前(まへ)が紹介(しょうかい)されてお



二松学舎松苓会 会長 廣田 克己 (文38回)

「伊那路」第三六九号・上伊路(いなぢ)三島中洲先生(しみまなかつま)撰(せん)文(ぶん)大正八年(たいしやちゅうはちねん)三月(さんげつ)の伊那(いな)市(し)高遠(たかとほ)伊(い)路(ぢ)二(に)生(せい)家(け)の建(けん)立(りつ)時(とき)期(き)につ

那(な)郷(きやう)土(ど)研(けん)究(きゆう)会(かい)・昭(しやう)和(わ)六(ろく)十(じゅう)二(に)年(ねん)とあり、伊(い)沢(さ)修(しゆ)二(に)一(いつ)年(ねん)の生(せい)涯(げい)と業(ぎやう)績(せき)一(いつ)書(しよ)館(かん)・昭(しやう)和(わ)六(ろく)十(じゅう)二(に)年(ねん)に

生(せい)と地(ち)域(ぎく)の文(ぶん)化(か)と(と)の深(ふか)い関(かん)わ(わ)り(り)が(が)見(み)え(え)て(て)く(くる)の(の)は(は)深(ふか)い(い)か(か)と思(おも)われ(れ)ま(ま)す(す)。

コロナ禍と松苓会活動

議(ぎ)決(けつ)権(けん)が(が)半(はん)々(たんたん)と(と)い(い)う(う)もの(もの)で(で)し(し)た(た)。

を開始し、徐々にキャンパスも賑わいを取り戻していきま  
す。学生たちは入学以来2年  
目、3年目で初顔合わせ、な  
どという状況に戸惑っている  
だろうと思いますが、楽しい  
様子を見せています。やは

りこうでなくては、と思いな  
がらエレベーターに並ぶ学生た  
ちの混雑を見て、松苓会室に  
通っているこの頃です。  
最後になりましたが、長野  
県支部のますますの発展と皆  
さまのご健勝を祈ります。



### 「事成し終えん」

杉村修一

(文51回)

今年3月をもって無事定年  
退職を迎えることができ、  
ほっとしていると同時にこれ  
からの自分づくりに悪戦苦闘  
しております。

二松學舎大学の雨海ゼミを  
出て、かれこれ四十年余りが  
過ぎました。松苓会長野支  
部の歴代の役員の皆様におん  
ぶに抱っこで申し訳ございま  
せんでした。今後はできる限  
りご協力を申し上げたいと思  
います。

二松卒業後常勤講師として  
岡谷東、教諭として坂城、上  
田染谷丘、中高交流で白田  
中、野沢南、屋代、教頭とし  
て飯田工業定時制と飯山北、  
校長として蘇南、高校教育課  
指導主事、松本県ヶ丘は県下  
初の再任用校長として4年間  
勤めました。教員歴は39年間  
でした。

坂城の生徒に育てられ、生  
徒会中心に生徒と共に活動で  
きたことが後々につながった  
と思います。一番は野沢南時  
代に次ぎから次へと新しい教

育実践をさせていただきました  
。この実践経験と生き様を  
見せてくれる先生との出会い  
が自分を支えてくれたといっ  
ても過言ではありません。屋  
代では中高一貫、飯田工業定  
時制、飯山北は統合を経験さ  
せていただきました。どのよ  
うにしたら両校職員が溶け込  
んで統合ができるかを学び実  
践できました。

高校教育課では人事を担当  
し、加えて勤務時間調査を確  
立できました。そして松本  
県ヶ丘では探究科の設置1年  
目から4年間、試行錯誤しつ  
つ、新たな探求学習スタイル  
を確立できましたことは、非  
常に大変でしたが、事成し終  
えることができたと思ってお  
ります。偏に二松學舎での学  
びとOB、OGの先生方のお  
かげと感謝しております。

最後にありがとうございます。  
お借りして二松學舎大学のま  
すますの発展を心より祈念申  
し上げます。



### 教育実習を終えて

二松學舎大学文学部国文学科四年  
太田 さや香

長いようで短かった、あっ  
という間の二週間でした。実  
習が始まる前は緊張と不安で  
ドキドキしていました。い  
ざ始まってみると、そんなこ  
とは頭から吹っ飛ぶくらい毎  
日が忙しく充実していて、不  
安を感じる暇もありませんで  
した。

緊張しやすい性格ゆえ、授  
業ごとに作成する指導案は  
きつちりしつかり、授業中に  
慌てることのないよう作って  
いたのですが、実際に授業を  
行ってみると思うようにいか  
ないことがほとんどでした。  
一番はじめに行った授業では  
途中でパニックになってしま  
い、冷や汗が止まらなくなり  
ました。その場合はなんとか凌  
げたものの、うまく授業が進  
まなかったことに落ち込んで  
いると、指導教諭の先生が  
「そういう時は焦らずに、

「ごめん、先生少しパニック  
になっちゃった」って素直に  
言っていたんだよ。はじめか  
ら何にもミスしないで授業す  
るなんてできないんだから、  
焦ったり落ち込んだりする必  
要はない」と声をかけてくだ  
さいました。そこではじめて  
自分が失敗を恐れて必要以上  
に気を張っていたことに気づ  
き、そんなに神経を尖らせる  
必要はないのだと、少し肩の

力を抜くことができました。  
すると心に余裕ができ、生徒  
の表情や仕草に気を配れるよ  
うになりました。そのため  
「ちよつと分かりづらかった  
かな」とか、「もう一度復習  
した方が良さそうだ」と気づ  
けるようになっていきました。  
どんな授業をするのが楽しく  
なっていました。

生徒の雰囲気を読み取れる  
ようになると、授業後の反省  
で「もつとこうすれば良かった」  
「こう説明したら理解し  
てくれるんじゃないか」とい  
う風に考えるようになりまし  
た。それ以前は「生徒」と  
いつてもそこにひとりひとり  
の「生徒」がいるという感じ  
ではなく、「生徒」という名  
の集合体のようなものをイ  
メージしていたように思いま  
す。そのため授業の内容につ  
いてもなんとなく漠然とした  
ものになってしまっていたの  
ですが、対象である「生徒」  
がもつと具体的になり、それ  
ぞれの人物として目の前に立  
ち上がってきたことで、指導  
案を作成する際にあまり悩ま  
なくなりました。そして徐々  
に、こういう所に引っかけ  
そうだなと考えるようにな  
り、生徒の興味を途切れさせ  
ずに授業を進めていくにはど  
うしたらいいかを中心に考え

るようになりました。授業中  
もただ指導案のとおりに進め  
るのではなく、その時々で捕  
捉を入れたい雑学を入れたり  
と、臨機応変に対応すること  
を心がけました。不思議です  
が、生徒の気持ちがちやらを  
向いてくれると何故か分かる  
ものです。生徒が少しだけ  
も授業に前向きになってくれ  
たと感じる度、本当に嬉し  
く、頑張った甲斐があったと  
感じました。教師という仕事  
のやりがい、少しですが感  
じることができました。思いま  
す。

教育実習を通じて、改めて  
教師という仕事について学ぶ  
ことができたので、未だに進  
路に悩んでいるので、この実  
習は本当に良い機会だったな  
と思います。教職への憧れが  
強まった二週間でした。実習  
で学んだことを、残りの学生  
生活と今後に活かしていきたい  
と思います。

研究授業のようす (長野日大高校)



研究授業のようす (長野日大高校)

令和三年度

長野県支部総会について

本年度の長野県支部総会につきましては、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、大学・松苓会からの来賓をお呼びせず、例年行っておりました大学教員による講演会や懇親会も行いません。昨年との変更点として、長野県の会員の皆様にはご参加いただけます。

日時：七月二十三日(土) 午後一時三十分より  
会場：ホテル信濃路

長野市中御所岡田町三三ー四  
電話026-226-5212

参加の有無を同封の返信はがきにて七月二十日(水)までに投函していただきたくお願いいたします。



令和2年度 支部総会出席者

支部会費納入についてお願い

恐縮ですが、年会費二、〇〇〇円を同封の振替用紙でご送金いただければ幸甚に存じます。ゆうちょ銀行の決定事項により、本年度より窓口での振り替えには一〇円の手数料が必要になります。ご了承ください。また、銀行の口座間の振り替えには手数料がかかりません。

令和3年度 活動報告

(令和3年5月～令和4年4月)

期 日	活 動 内 容	備 考	期 日	活 動 内 容	備 考
7月8日(木)	支部報発行・会員送付		7月24日(土)	支部総会 (ホテル信濃路)	役員のみ

令和4年度 活動計画 (案)

期 日	活 動 内 容	備 考	期 日	活 動 内 容	備 考
7月上旬	支部報発行・会員送付		9月18日(日)	文学散歩	松本方面
7月23日(土)	支部総会 (ホテル信濃路)				

令和3年度 会計報告

(令和3年5月～令和4年4月)

収 入		支 出	
前年度繰越金	342,430	支部報等印刷費	112,783
支部会費	51,851	支部総会・支部報通信費	50,475
支部運営助成金(本会より)	80,000	支部総会費	12,270
支部報発行助成金(本会より)	30,000	総会時お土産	2,915
支部総会開催助成金(本会より)	20,000	寄付金	50,000
雑収入	1	繰越金(次年度へ)	295,839
計	524,282	計	524,282

令和4年度 予算 (案)

収 入		支 出	
前年度繰越金	295,839	支部報等印刷費	120,000
支部会費	50,000	支部総会・支部報通信費	40,000
支部運営助成金(本会より)	80,000	支部総会費	20,000
支部報発行助成金(本会より)	30,000	予備費	295,393
支部総会懇親会会費(本会より)	20,000		
雑収入	100		
計	475,939	計	475,393

